

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	26	—	2	事務事業名	ごみ収集事業	細事務事業名	ごみ収集啓発事業	公的関与	9	シート作成日	平成30年6月7日			
課名	環境課		グループ	清掃対策	担当課長名	柴田寿文		シート作成者名	田口邦郎					
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ				実施計画		事業の開始・終了						
	施策項目	廃棄物処理等環境衛生の充実				<input type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	主要施策	3R運動の促進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	弥富市資源ごみ回収手数料交付要綱					
個別計画														
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)									
	市民				ごみを分別、リサイクルすることで、ごみの減量と資源の再利用・再生利用に対する市民意識の高揚を図ります。									
事業の内容	市内の一般家庭から排出される一般廃棄物(ごみ)の分別啓発、一般家庭ごみ収集日日程表の作成・配布を行い、ごみの正しい分別と減量を推進します。また、ごみ減量・リサイクルへの取り組みを促進するために、資源ごみの集団回収を実施する登録団体に、回収品目毎の奨励金を交付します。(新聞紙、古布、段ボール、雑誌の回収量1kg当たり6円、紙パック、牛乳パックの回収量1kg当たり10円、アルミ缶の回収量1kg当たり20円。)													
成果指標	①	指標名	資源ごみ回収量				②	指標名						
		指標設定の考え方	3R運動を推進し、ごみの減量化に取り組み、資源ごみ(空缶・空ビン・ペットボトル・古紙等)の回収量を増加させる。					指標設定の考え方						
	実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度				
	目標	1,466	1,278	※	2,100	目標			※	目標				
単位	t				単位									
予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
直接事業費			平成 28 年度決算額				平成 29 年度決算額				平成 30 年度予算額			
	国・県支出金	千円				千円				千円				
	地方債	千円				千円				千円				
	その他特定財源	千円				千円				千円				
	一般財源	499 千円				635 千円				1,622 千円				
	計(A)	499 千円				635 千円				1,622 千円				
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人				0.034 人				0.105 人				
	臨時職員工数・経費	345 千円				235 千円				725 千円				
	臨時職員工数・経費	人	0 千円			人	0 千円			人	0 千円			
全体事業費(A+B)	844 千円				870 千円				2,347 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	消費型から循環型社会への転換を図る上で、必要な措置であります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	ごみを適切に処理するうえで、必要な事業であり、現状を常に注視し、創意工夫をした分別日程表の作成が求められます。また、適切なごみ分別が、ごみの減量化につながります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている		一部を除き、ごみの分別・減量の意識が浸透しています。	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	事業費は、市民にごみの分別や出し方についてわかりやすくするための「一般家庭ごみ収集日程表等」の作成経費等であるため、効率性を追求するべきではありません。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B				
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	ごみの中で多くの割合を占める可燃ごみやプラスチックごみの減量化に向けた取り組みを強化していく必要があります。また、空缶等の持ち去りがあり、未然に防ぐ必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	ごみのさらなる資源化を促進するため、新たにごみ分別手引きを作成し全戸配布をし、広報、ホームページ等により、市民にさらなる周知、啓発を行うことで、分別の精度を高めていきます。また、持ち去りを防ぐために持ち去り行為を禁じるよう条例化したので、警察との連携や、自治会による監視体制と巡回パトロールの強化を図ります。					廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、自治体には、一般廃棄物を適正に処理する責務があり、市民の生活においても大変重要な施策です。生活の多様化によりごみの種類も多くなり、コストがかかることとなり、再生できる物は、できる限り再利用する施策が重要です。循環型社会の形成に努める必要があります。このため、市民に直接働きかける出前講座など、啓発活動も必要だと思います。様々な施策を講じ、ごみの分別の徹底の啓発に努める必要があります。平成30年4月～市内の資源ごみ集積場からの持ち去り行為を規制できるよう条例を改正し、資源物の再資源化システムの維持・円滑な実施を確保するように努めました。								
	備考														